

防災の心がけ

「防災は忘れた頃にやってくる」と言われますが、地震は津波や火災、台風は洪水や土砂災害・吹雪などを引き起こし、多くの方の生命・財産を奪います。さらに冬期における停電の対策が必要です。



備えよう！

日頃からの備え

避難所などの確認

避難所などの位置や道順を覚えておきましょう。



家族の話し合い

家族がはぐれた時の集合場所や連絡方法を話し合っておきましょう。



持ち物の準備

非常持出品と非常備蓄品の準備をしておきましょう。



家具・消火器の確認

倒れやすい家具類は固定しておきましょう。また、消火器は見えところに置きましょう。



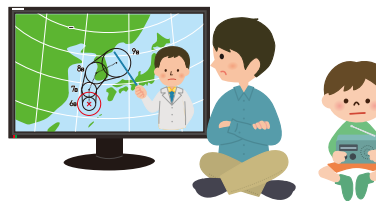
助け合い

近隣の人と協力してお年寄りや体の不自由な人をサポートしましょう。



正しい情報を

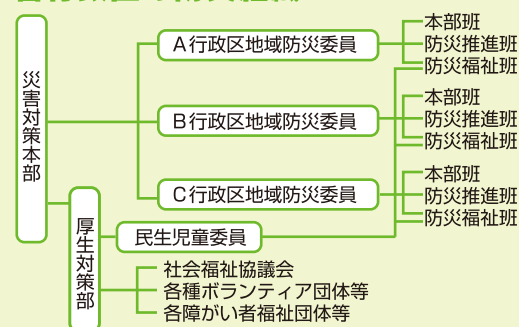
テレビ・防災行政無線などから正しい情報を得るようにしましょう。



自主防災組織で災害に備える

自主防災組織は、町内会などの自治会組織を単位に組織され、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感に基づき、災害による被害の予防・軽減など、地域ぐるみで災害に備える活動を行う組織です。

各行政区の防災組織



平常時の活動

本部 班
・防災知識の普及及び研修会等の実施
・避難誘導道路の確認
・情報の収集伝達訓練の実施
防災推進班
・防災点検の実施
・町等が実施する防災訓練への参加
防災福祉班
・災害時要配慮者の把握と近状の確認
・民生児童委員との連携
・災害時要配慮者の防災対策の検討

災害時の活動

本部 班
・被害状況の把握と報告
・情報の伝達→対策本部へ報告、指示受領
・給水、支援物資の配布活動への協力
防災推進班・消火班
・出火防止の呼びかけ
・初期消火の実施
救出・救護班
・被災者を発見した場合、二次災害に注意し救出・救護の実施
(医師の介護が必要な場合救護所への搬送)
・災害時要配慮者の医療手配等の応急対応
防災福祉班・避難・誘導班
・災害時要配慮者の安全確認と保護
・優先的に災害時要配慮者の避難実施
・民生児童委員との連携、協力

自主避難

危険を感じたら、自分の判断で避難することも大切です。避難前に役場に避難所を確認してください。



要配慮者の支援

高齢者・障がい者・傷病者など災害時に手助けが必要な方を「避難行動要支援者」と言います。このような方々を災害から守るため、皆さんで協力しましょう。

高齢者・寝たきりの方

緊急時はおぶって移動します。複数の介助者で対応しましょう。



目が不自由な方

ひじのあたりを持ってもらい、半歩前をゆっくり歩き誘導しましょう。



耳が不自由な方

手話、筆談、身振りなどで正確な情報を伝えましょう。



災害が発生したら

大きな被害が想定される場合、鹿追町役場から住民の皆様に避難情報をお伝えします。



いざというとき！

災害情報の伝達

避難情報に関するガイドラインの改定(令和3年5月)のため、警戒レベル4「避難指示」で危険な場所から必ず全員避難することになりました。これまでの「避難勧告」は廃止され、よりわかりやすい避難情報となりました。

警戒レベル5は、災害の状況を確実に把握できない等の理由で、必ず発令するものではないので、ご注意ください。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難すること			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

※警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

防災行政無線について

防災行政無線は、災害時に戸別受信機及び屋外拡声器を通じて、全町へ災害状況をお伝えします。避難時には、必要最低限の持ち物と可能な場合は戸別受信機を持って避難しましょう。

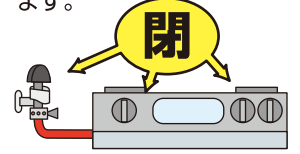
Jアラートについて

緊急地震速報などが発令された場合、または弾道ミサイルが日本に飛来する可能性があるかと判断した場合には、政府はJアラートを使用し、緊急情報を伝達します。Jアラートの情報は、防災行政無線等から警報として流れるほか、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信されます。

避難する際にすべきこと

ガスの元栓を閉める

留守中のガス爆発を防ぎます。



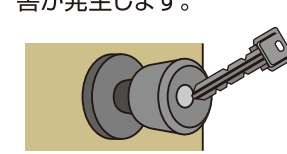
ブレーカーを落とす

通電火災を防ぐために、ブレーカーを落とします。



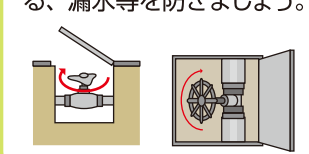
戸締りをする

震災時は空き巣による被害が発生します。



水道の元栓を閉める

水道管や排水管の損傷による、漏水等を防ぎましょう。



Useful information お役立ち情報

落ち着いて
直ちに行動しましょう！

ミサイル飛来のメッセージが流れたら

1 速やかな避難行動

- 屋外にいる場合 近くの建物の中から地下に避難
- 建物がない場合 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る
- 屋内にいる場合 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する

2 正確かつ迅速な情報収集

近くにミサイル落下！

- 屋外にいる場合 口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合 換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。